

【刊夕】日二十二月二十



加五税郵銀十五月一 錢貳金部一 價定
錢十五行一 詰字三十號五 料告廣
治文 崎川 入刷印人 崎川 崎川
五三町橋長町平郡城石縣島
番〇三六路電 社聞新日每警常 所行發
社台式報刷印日每警常 所刷印

悟りの開ける道

翼 繼 雲 山

日本の佛教は、現在五十
八派あつて、一派に一管長
があるから、合計五十八人
の管長様があるわけである
總して管長になる頃には
相當の年紀に達してをり、
往生の期も眼前に迫つてお
ることであるから在任中の
時間は人一倍に尊いといふ
こともあらう。それに一つ
は管長様には、それ相當に
勿体をつけねば一宗の植打
がないといふ故もあつて、
平民共が管長様にお目にか
ゝるといふことは割合に骨
が折れるやうである、先ず
本山の勸募(寄附金集めの
こと)の前觸れとしてかん
長様の御親教の會座に連な
つて拜むぐらゐが平民共
取つて關の山ではあるまい
か。さればかん長様と對座
して親しく法話を交へるな
どいふ機會は平民の求道者
としては余り望まれない。
しかと物は考へやうで首
尾よくお目にかつたところ
で、平民の方が法螺を吹
き、講釋をするわけではあ
るまいし、結局先さまの有

り難いお説教を拜聴して引
き退るが落ちであるとすれ
ば、活佛の顔見せではある
まいし、何も忙しい手間ヒ
マツぶして、皺クチャの管
長さまに面會を乞はずとも
失禮だがモット、立派な
昔の管長さまに、思ふ存分
お目にかゝつて教へを聞く
分別がある、それは古人の
管長さま、つまり古聖の遺
著をひもとくといふこと
である

現代にも勿論、相當立派
な管長が有りもしやうが、
五十八人現任かん長が百年
後に(その一宗の過去帳を
別にして)果たして幾人が
史上の有徳者として傳へら
れるであらうか。名が残る
のをエラしとするのでは固
よりないが、その残る程度
は恐らくへボ大臣と五十歩
百歩ではあるまいか。さう
して見れば、今日私たちが
先人の遺書を通して接し得
る昔のかん長さま級——つ
まり古聖の信仰と行持とは
現代人以上に遙かに崇高偉
大なものであつたといふこ
とになる

遠く天竺、震旦の昔は措
いて問はず、本朝に奈良佛
教、平安佛教が開け初めて
この方の各宗のかん長級の
人物は、恐らく万をもつて
算し得るであらう、それら
は僅かに本朝高僧傳中の數
行を占むるに過ぎず、その
万余の高僧のうちから眞に
傑出した偉大な大徳の人名
のみが私たちの記憶に棲ん
でゐるのである。これら万
余の高徳の教へは遺著とな
つて汗牛充棟も管ならぬ程
に澤山ある。私たちはホン
の一擧手の勞をもつて、そ
の尊い遺教を手にし得るの
である。尤で古今のかん長
級の展覽會、品評會を縦覽
して、ヨリ取り勝手といふ
やうな旨い話である。斯う
した便利な時代に生れ合は
せた私たちは、何ぞ手間ヒ
マツぶして現任かん長さま
の前に跪拜せんやである。
現任かん長さま以上の尊い
古聖と、日々夜々机上に物
語り得ることをわたしは常
々欣幸とする一人である

たゞ一つ近頃の流行とし
て國本的の國譯大藏經式な
本が流行してゐるが、あれ
を繙くほどの人はモチツと

進んで研究してゐるし振り
かなを便りにして國譯を讀
まねばならぬやうな人なら
わざわざ國譯圓本を買ふ氣
づかひはない、所詮あれは
ソソ讀家の誇りを満たす書
齋の裝飾品たるに終るであ
らう。

中村新町(元新龜跡)
御料理 丸 杉
主 杉 荒 吉
電話一七四番

電話開設

六二五番

右開設致しましたから何卒御利用下
さい

辯護士 増田梅藏
平町才道小路一番地

ヨウ！モーダン！
いゝ服を求めたね
斷然三〇年型だよ
いやニレカネ
例の……「ソレ」

正札堂

六三四電通場車停目町四町平

廣 告

◆貸餅は平製菓會社へ
例年の通りお正月の賃餅御供を取扱
へ致します

◆本年は不況の折柄特に壹升金五錢に
て御注文御引受け量目を正確市内無
料配達致します
◆何卒多少に不拘御用命は——

平製菓株式會社

電話三六〇番(電略タカ)
福島縣平町字小太郎町貳拾壹番地

寫る！

素的によく寫る
益々評判なる……
タツタ一圓の
富士カメラ

クリスマスプレゼントに！
お正月のお楽しみにも！
ぜひ……いづみやの
富士カメラ

第二回 懸賞寫眞募集

- (應 募 規 定)
- 一、富士カメラ使用の寫眞に限る事
 - 一、寫眞は風景人物其他隨意の事
 - 一、寫眞は必ず台紙へ貼付け裏面へ住
所氏名明記し原板添付の事
 - 一、べ切は昭和六年一月七日
 - 一、應募寫眞受付はいづみや玩具店
 - 一、發表は一月十日いづみや玩具店々頭及び常磐
毎日新聞紙上へ掲載
 - 一、審査は主催者に一任する事

賞 品

- 一等 家庭用歐文タイプライター 三名
 - 二等 富士カメラ携帯用サツク 十名
 - 三等 富士寫眞ブック 二十名
- ◆選外全部臺紙一枚ツ、進呈
- 尙不明の點は主催店へ御問合せ下さい
- 平 驛 前
主 催 いづみや玩具店
後 援 常磐毎日新聞社

石城の人口

内郷村は平より 二千名以上多い

去る十月十日行はれた第二回の國勢調査の結果による石城郡の人口は町村長石城支會の調査によると概數十九万九千八百人で第一回に比し約一割の増加であるがこれを明治四十四年の石城の人口十二万四千九百七十七人に比較すると丁度二十年目に七万四千餘一年平均三千七百餘りづゝ増加して來た事になつてゐる人口の一番多いのは縣下でも一番の内郷村で平町を凌駕すること二千三百、その數二万七千二百で磐城炭礦の今後の活躍如何によつては來春の三月頃までには三万を突破するといふすこい鼻息、それと

反對に一番人口の少ないのは鹿島村の千八百六十人、渡邊村の二千八人で鹿島の千八百に至つては磐城高女校の生徒程もない事となり極めて心細いものがある因に五千以上の町村は左の如し

- ▲内郷村二七、二〇〇人
- ▲平町二四、九〇〇人
- ▲湯本一五、二八〇人
- ▲好間村一一、六三〇人
- ▲小名濱町九、九〇〇人
- ▲勿來町七、七〇〇人
- ▲磐崎村七、四九〇人
- ▲赤井村七、四八〇人
- ▲四倉町七、二八〇人
- ▲植田町五、八三〇人
- ▲江

名町五、六六〇

角網漁業 新に敷設願ひ

四倉漁業組合では角網漁業の沖出千八百間を本年六月一千間延長二千八百間とし縣の許可を得て好成绩を収めたが同組合では今回更に角網敷設場所を一千間手前の元の場所でも許可して欲しいと免除方を願ひ出た都合二箇所で漁獲したいといふ意向である、然るに角網の小漁業者は若し許可されれば影響が少ないので反對意見を有して居り更に小名濱漁業組合が曩に右問題で紛擾を醸したこともあり今回の出願で又も一騒ぎ演じてしまいかと憂慮され同許可問題を注目されてゐる

將來の爲を思ひば コンクリート堤防に

土堤防は完全でない 新川改修に異議

平町外二ヶ村水害豫防組合本年度の新川河川改修工事は既報の如く十七日のことに決定したが土堤防とする爲に充分の傾斜を取らねばならず左岸は道幅も二間半で既成のコンクリートものとのうつり工合も格別目立たないが右岸は三間六分の土地買収を必要とし且既成の堤防とうつりわるく甚だ見にくきものとなり且持久力も悪く經費の關係上遺憾の点があり將來の爲めにコンクリート堤防にしたいものであると各関係者は希望してゐる

無検査俵 販賣を防止

木炭需要期に 濱三郡木炭同業組合では木炭需要期なので山間部地方より平均一割減だと

松の老樹を指定か

石城郡鹿島村大字矢田圓福寺の共同墓地内にある松の老樹は樹齡數百年に達し天然記念物として指定の價値があるので二十日縣から村長に對し右老樹の調査方を命じた

辯護士忘年会

平町辯護士會では二十四日午後一時から總會開催し役員選

内郷共済發會

石城郡内郷村では今回村内に約五十名の共済委員を任命活

小名公設質屋

廿五日に開業

石城郡小名濱町では過般公設質屋を設置すべく準備を進めてゐたが今回主務省より低利資金一萬五千圓を融通されたので二十五日同町中央に開業する運びとなつたが漁業地だけに非常に期待されてゐる

平穀検米検査

穀物検査所平支所かん内に於ける去る四日より十八日まで米検査數は六百二十六俵で共同検査所と小作米の検査である即ち小作米の受檢者は平町の諸橋久太郎同酒井一郎、上小川村の草野晴太郎の諸氏であつた因に本年度は小作米検査無手数料のため餘程の多數に達する見込みである

賞與一割減

平町の各學校 並に商業學校教員のボーナスは大体二十五日頃支給されるが今年の前年支給額より平均一割減だと

お正月に 安い酒

左黨だけは 正に當り籤

平税務署かん内の酒造業者が有する現在の持越酒は約一割の増であるこれがため各酒造業者は仕込みを手控へた結果今年には仕込み済みは僅かに半數に満たぬ有さまで結局左黨は新年には満

如何に活躍した乎

四つ 男生

下落するものと一般の觀測だから新年の祝酒は一層安いのが呑める譯で何んといつても左黨だけは當り籤を引いてゐる事になる

木枯吹きすさび霜葉がコートに立つようになるともう吾が磐陽のテニス界は寂寞としてラケットはサツクに入れられたまゝ來春を楽しみに暫くの間冬眠状態に這入る。こゝらで一寸本年度に於ける磐陽のテニスマンが活躍した跡を辿るのもファンに取つて楽しみのも一つであらねばならない。思ふに本年程吾が球界が恵まれた事は近來無かつた。先づ今年度初頭日立鑛山大會に平俱樂部が優勝する。第二に當町關東大會に同じく平俱樂部が再度錦旗を翻す郡山市庭球協會主催縣下四都市(郡山、福島、若松、平)の對抗第二回大會に於ては見事昨年に續いて月桂冠を獲得する。又日本軟式庭球界に於て最も權威ある東京のオールデヤバン大會には磐陽庭球會の先輩阿部、奥澤組が決勝戦まで踏み止まつた。假令優勝戦に惜しくも敗れたりとは云へ東北の球界の爲めに萬丈の氣を吐いたものと云ひつべく後進奮起の爲めどれたけ役に立つたか想像以上のものだ。更

文藝募集

會に決勝戦とまでこれだけの好成績を得て今シーズン幕を閉ぐるのは蓋し近來にない見事な成績と云はねばならない。さてこれだけの好結果を見るやうになつたのも決して偶然ではない何か其所に依つて來たる處が無くてはならない。筆者は暫く此等の諸事情を追憶して撰手諸君の努力に敬意を表し又二つには來年度に一層の精進勵精を冀ふ事に致したいと思ふのである。

平局の年賀状取扱

約十割の大増加

殆ど目数との豫想を覆へし

實に驚くべき此現象

平郵便局の年賀郵便取扱は既記の如く本年如何に不況とは云ひながら取扱区域も一部擴大された事であるから先づ以つて

減少を見ずに殆ど同數位には過ぎつづけるものと豫想を以つて準備怠りなかつたか愈々蓋を開いた第一日目の即ち廿日には千七百一十一通、第二日目の廿一日になると俄然五千四百八十七通、合計六千五百八十八通の

多數に達し昨年の兩日間合計四千四百七通に比較すると實に七割二分の増である、また一方他局から配達すべく移送された越は第一日か昨年僅か百十通に過ぎなかつたのか二千四百廿六通を數へ、第二日も昨年の四千五百十七通が一舉に九千十四通となり引受と繼越を

合算すると實に九割九分の大激増を來してゐる右に關し局員は語る「こんなに増加するとは思ひませんでした、實に驚くべきです、大てい一日と二日の取扱數に依つて其年の増減を卜する事が出来るのですか此分では素晴らしいも

のと思ひます手拭とかカレンダーとか一般の商家が顧客先對する新年の贈り物を省略して年賀状に代へた向もあるやうですし一般が不景氣で引ッ込み勝ちである處から御無沙汰を謝すべく近距離の人にも一本の年賀状を飛ばすと云ふやうな傾きがあり且つ當地方の人々か益々年賀状の功德を知つての結果として

此の大激増を見たものと思はれます

演武場建設

三國の廣場に

石城郡湯本町では磐崎村の休山になつた三井炭礦の建物を拂下町大字三國の廣場に演武場並に矢場を建設する事になり目下工事準備中である

神社境内で格闘

持兇器青年

今年廿一歳の兇賊

平署近來の大捕物

一ヶ月間に百餘の窃盜

二十日午後七時頃石城郡内郷村宮諏訪神社境内を二見二十三歳位の青年が徘徊してゐるのを平署員が舉動不審と認めて誰何した所同人は矢庭に

懷中より短刀やうの兇器を取り出し斬りかゝつたので格闘の末取押へ本署に引致嚴重取調べた所最初は口を緘して語らなかつたが遂に包み切れず自白した

め磐越線赤井驛に下車附近の福島炭礦糧食部から反物三反外衣類數點を窃取し山越しに内郷村宮に至り前記諏訪神社拜殿の床下を隠れ家となし

これを開けば

盲目になるゾ

南朝時代に關係ある

猪狩家秘藏の一卷

過般何者かによつて發掘された草野村の經塚の地主の分家なる石城郡草野村大字泉崎京塚一猪狩清次氏方に昔時より秘藏されてゐる巻物について二十一日四倉署で取調る所あつたかその文書の前書には

相場が上向

需用期に入り

濱三郡に於ける木炭業者はいよいよ木炭の需用期に入り東方面が品不足を來してゐる結果最近に至り大量の注文もあつて荷動きも多くなり相場も漸次上向きとなり活氣がついて來たか各産地で不況を見越して生産を手控えて關係でもあらうか地方産の樽割四貫目俵五十五錢から六十錢位である

ピアノ寄附

第三校で整理

石城郡平町第三小學校通學児童關係區内の町議學務委員區長等十名は二十一日午後同校に參集かねて同校に備へ付けのピアノの購入體操用具の買入れ費を平町全部から各區長に依頼して寄附金募集中の所來る一月一

四學年に進學するならば残る半數中十四五名は實業に就き他は會社、商店員を希望して居るが不況の今日でも同校卒業生は割合に賣行きよく恰度使ひ音といふ關係上全部就職出来る見込である

波及する？

全従業員に

坂田坑の爭議 石城郡赤井村福島炭坑坂田坑の勞働賃銀値上げ問題は目下勞働者代表と主坂田氏との間に折衝を試みられており今明中には何とか解決されるのではないかと見られてゐるか万が一交渉破裂して罷業決行の場合は當然福島炭坑全従業員五百餘名に飛び火するおそれがあるので平署特高課では引續き嚴重警戒中である

イワシ襲來

沿岸大喜び

石城郡濱通り沖合には三日前から鱈の大群が押寄せたので沿岸一帯は何れも思はず豊漁に大喜びである

解決困難か

賃金値下要求

小名濱築港における御影石運搬夫五十餘名は採掘請負者である平町十五丁目馬目雄次郎氏に對し一才二錢の扱ひ料を二錢五厘に引上げしてくれと目下委員十五名をあげ要求し兩者間に紛糾を醸してゐるが解決は困難な模様である

青年の家出

自殺の目的

東京府下在原郡大山村機械業商米浩長男波多野源一(三)は去る廿日午後六時ころ無斷家出したが病身のため自殺する旨の遺書があつたので或は平方面に行つたのではないかと十九日平署に捜査方願ひ出た

入山所長

更迭

石城郡湯本町入山炭鑛では所長渡邊寛一郎氏辭任し吉田宗雄氏が後任にまた大貫經次氏が副所長に就任し廿日午後五時から同町松栢館で披露式を舉げた

農閑期となり

日傭取失業

石城郡小川村大字上、下小川一帯では歳末に向つて日傭業の失業者が激増し同村役場ではこれが處分に非常に困つてゐるが恐らく同村は日傭業者の多いことは石城郡下でも随一と呼ばれてゐる尙他町村にも農閑期になれば日傭業失業者が多く全郡下では千五百名以上に昇つてゐるといはれてゐるが二三年前までこれ等失業者も春あきと稼げは一寸遊んで喰つて行けたものが最近では一日の日傭賃がやうやくその日の暮しをたてる状態であるのに今後どうして喰つて行かに憂慮され一般から注目されてゐる



捕物おぼえ
東京橋場射撃
采田安藏(其四)

「あつて分りたね」と陰をけられた。日は最う暮切つて、品川の沖の方にチラホラ……漁船でもあつたか、ほたるのやうに火が見える。向ふ河岸には露所に夜の光り……見分ける位なものだ。
「オ、金太だつたな」
「お分りしたへ一件は」
「好いところで逢つた……」と前後の人通りを見渡し「金太、橋場の太と云ふゴロツキを知つて居るか」と陰を小さくした。
「へえ知つて居ます」
「陰が知つて居るだらうな」
「幾度も逢つた事があります」
「夫れは何よりの都合だ、一歩も知らぬと云ふ、御用筋を考へなからで、夫れが解になつて何んか急務の御用筋でも、他國へ出る外乗物を用ひなかつた群からで在らう。
永代橋へ掛つた時、向ふから歩き足に來た男と掛れ逢ふと。」



「彼の」件に係り合なん……」
「適々話しながら行く、御用が手に違ひ無いらうし」
「然う云へば能く太十が、山崎爺い所へ入り込んで、酒を飲んで居るのを見やした」
「水戸屋の部屋にゴロツキやらして居ると云ふが、御用筋の……下層敷で御用筋を吹かす際にならね、御用筋を知つて居るなら何か工夫して外へ連れ出して……外へ出さへすりや、御用が……」

「居ねへか」
「居ねへのでけず、大層の……は置いたのでけず、御用筋の……太郎に聞くと、今……と云ふ友……と出て行つた、多分……も金……ひに行つたんだらうと言ひます。……の行くところは……の……めと云ふは……、佐藤……の……へ……ださうでね、八……では行き付けが無いと云ひます。夫れに今日は……出来が……たへ事で、……工合が……ちやア……かめか鳥屋に……居るだらうとの……でした」
「海と云ふ……は……だ、殺された手口が……ちやアねへやうに考へたが、其……多分……しい奴だらう？」
「ですがね……は……一人だらうと、言つて居なかつたが……「悪に……か……、……て、再び永代橋の……」

「居ねへか」
「居ねへのでけず、大層の……は置いたのでけず、御用筋の……太郎に聞くと、今……と云ふ友……と出て行つた、多分……も金……ひに行つたんだらうと言ひます。……の行くところは……の……めと云ふは……、佐藤……の……へ……ださうでね、八……では行き付けが無いと云ひます。夫れに今日は……出来が……たへ事で、……工合が……ちやア……かめか鳥屋に……居るだらうとの……でした」
「海と云ふ……は……だ、殺された手口が……ちやアねへやうに考へたが、其……多分……しい奴だらう？」
「ですがね……は……一人だらうと、言つて居なかつたが……「悪に……か……、……て、再び永代橋の……」

て總是命用御の物刷印
番〇三六話電 會社刷印日每警常

花環
花籠
蓮華
造花
町新平橋
屋本
香三六一話電

度量衡、計量器、吸入
用酸素、酸素吸入器
關内藥局
電話四〇番

高久病院
院長 醫學士 高久忠
副院長 新瀉醫學士 赤羽清
藥局長 藥劑師 佐竹菊雄
内科小兒科 平町田 電話五二三番
耳鼻咽喉科 レントゲン科

平新川町十九
木村病院
産人科 院長 木村寅次郎
婦人科 院長 木村コウ
女醫 木村コウ
内臓外科 醫學士 松氷憲一
整形外科 醫學士 萩原駿二
一局 東京藥學士

貰つて重寶
贈つて便利な
三井の券品商
店服吳井三

●不景氣蹴飛ばせ!
◎五圓均一革靴 修繕自由
赤、黒、短靴、編上靴でも
◎耐久保證券付革靴
破損(三ヶ月以内新品交換
十ヶ月間は修繕無料)
▼各種高級ゴム長靴
菊地靴店
目丁四平
(内ルピモトルマ)

一均錢十
酒場開設
此の勉強振りを御覽下さい
銘酒 一合
(おこのみによりお薦めします)
焼酎 一合
ブド一酒 一合
ウエスキ 一杯
サイダー 一本
湯豆腐一皿三錢 肉鍋一皿十五錢
三丁目横町(平警察署通り)
ヤマサバ
酒場

吉田眼科病院
平紺屋町、電話六八番

外科
性病科
X光線科
平町田町(赤心堂病院跡)
安齊外科醫院
電話四七五番